

# 会議出席報告

以下のとおり報告いたします。

社会教育グループ 主査 石丸 学

|   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| 日時・場所   | 令和7年5月14日(水) 18時30分～19時20分 総合庁舎大会議室 |
| 会議名   | 令和7年度第1回スポーツ推進委員会議                  |
| <p>◆委員出席者…伊藤、藤森、小坂、石塚、宮崎、瀬田川、榛 [7名]<br/>※瀬田川委員は都合により19時に退席</p> <p>◆委員欠席者…立浪、荒木、石井、鳥實、且見、黒木 [6名]</p> <p>◆教委出席者…井内教育長、渡邊次長、石丸 [3名]</p> <p>1. 開 会</p> <p>2. 辞令交付及び表彰<br/>辞令：辞令交付対象の黒木委員が欠席のため、辞令交付は実施せず。委嘱状は後日本人へ送付<br/>表彰：伊藤委員長が令和5年度北海道スポーツ推進委員功労者表彰を受賞<br/>※本来令和5年度中に渡すべきものだったが渡せずこのタイミングとなってしまったもの</p> <p>3. 教育長あいさつ<br/>追分プール、屋外リンク、スキー場などの社会体育施設見直しを検討していかなければならない。今までのスポーツ推進委員会は、例年やっている行事をどうするかという部分が多かったと思うが、今年は安平町のスポーツ環境そのものをどうしていくかということにも皆様の力をお借りしたい。</p> <p>4. 次長あいさつ</p> <p>5. 議 題</p> <p>(1) 部会の確認<br/>別紙予定表参照<br/>昨年決めた令和8年度までの部会構成で、今回退任となった松尾委員の担っていた事業部の部員のところそのまま新任の黒木委員を入れ込む形で良いか<br/>→異議なし</p> <p>(2) 年間予定について<br/>別紙予定表参照<br/>会議について、教育委員会側で実施予定日を決めた。場所は1回目は庁舎だが、その後は追分公民館と早来公民館での交互実施を考えている。実施内容含めてご意見伺いたい<br/>→特になし<br/>時間について今までどおり18時30分をベースで良かったか？早めることや遅くすることもできるが<br/>→今まで通りの18時30分からで問題なし<br/>教育長からの挨拶の中にもあったが、施設の見直し検討の関係で今後みなさんのご意見を聞くことが出てくる。次の会議（7月2日）がそういった場になる可能性があるので、ご承知おきいただきたい<br/>そのほか、今すぐ回答は出ないかもしれないが、12月の屋内子どもチャレンジ塾について確認したい。昨年はアビー等のイベントと時期が被って、人の取り合いになってもとのことで中止となった。今年度についてもアビーはイベントをやると思うが、今年の推進委員としての考えはあるか。合同でやるとか、時期をずらすとか、実施をしないとか<br/>→昨年は、教育委員会から全然情報が共有されずに直前で各イベントと時期が重なっていることが分かって中止とした。推進委員としては実施を考えている。イベント情報等について教育委員会では情報把握に努め早めの共有をお願いしたいということで昨年度に話をしている<br/>実施時期は基本的に12月ということで良いか？<br/>→基本的に12月でよい<br/>12月近辺で教育委員会関係でのイベントについて確認するとともに他のイベント情報もつかみ次第み</p> |                                     |

なさまに共有するようにする

→合同でやるとか時期をずらすとかは他のイベント情報を把握した上で決定したい

### (3) 今後の社会体育事業及び関連事業について

次の通り実施予定。直接スポーツ推進委員に関係するものはないが情報提供するもの

#### ①軽スポーツ普及活動

キンボール、フロアカーリング、アイスゲットなど、各学校や団体行事などで講師依頼があった際は、競技指導等の協力についてお願いしたい。(R6年度実施例 早来学園：アイスゲット授業)

#### ②「町民ラジオ体操会」

\*日 時：7月26日(土) 6時20分～6時40分頃

\*会 場：追分地区～いぶき駐車場 早来地区～しののめ交流館前

\*主 催：安平町体力づくり推進協議会

### (4) その他

年間予定のところでも紹介した①～③について、参加者を決めたい。特に①については、安平町が事例発表の年となっているので、委員長の出席は必須と考えている。②については、まだ詳しい開催要項が出てないので、分からないが念のため前泊を想定している。予算上は①も②も最大4名分の宿泊を見ているので、記載の出席者以上でも問題ない。出席のほどいかがか

#### ① 令和7年度胆振管内スポーツ推進委員研修会

\*日 時：令和7年11月15日(土)～16日(日)

\*会 場：室蘭市

\*出席者：委員長+委員1名+教委1名を予定

#### ② 令和7年度北海道スポーツ推進委員研究協議会

\*日 時：令和7年10月11日(土)(1泊2日※前日入り)

\*会 場：岩内町

\*出席者：教委1名+委員1名を予定

#### ③ 令和7年度胆振東部3町スポーツ推進委員交流会

\*日 時：未定 ※昨年度：9/14 安平町開催

\*会 場：厚真町

→今の段階では、まだ決められない。次回会議で決定としたい

今年度から連絡手段としてSlackでの運用を開始したが、何か不具合等あるか？

→スポーツ推進委員のチャンネルの他に全メンバー向けの発信が見られるようになっている。推進委員と関係もなく、学校現場のことなどが見れてしまうのかがいかなものか

現状ではスポーツ推進委員も「全メンバー」なので、見る事が出来てしまう。発信内容のこともあるので、スポーツ推進委員としてのみ参加している方については見る事が出来ないように設定を変更したい。

→あとは、ダイレクトメッセージも送ろうと思えば、全然関係ない人に送ってしまうのが気になる

おそらくSlackの仕様上、検索をかければ教育委員会ワークスペースに参加している全ての人に対して送ろうと思えばメッセージを送ってしまうと思う。何か出来ないか設定は確認してみる。

→こういったことがあるので、連絡手段は従来のLINEでも良いのではと思ってしまう

教育委員会としては個人のLINEアカウントを使うのではなく、公のSlackを使っていくようになっていくので、ご理解いただきたい。今出たこと以外にも今後使っていく中で困りごとなど何かあれば随時お知らせいただければと思う

## 6. 各参加者からの話題提供(教育長からの提案により実施)

小坂：今まで部活動の地域展開について前年度から耳にすることがあったが、地域で温度差があるのかなと思っていましたが、昨日見たテレビ番組で地域展開についての特集を見た。全国的な話題だということのを再認識。それに対する困りごとでも地域差がないと感じた。

宮崎：ホッケー日本代表が4月にスポーツセンターを利用していた。多くの町民はそのことを知らないのだろうなと思った。もうちょっと町として宣伝があっても良いのかなと思った。昨年度のアイスゲット大会が参加者が少なかった(一般の部3チーム、小学生の部0チーム)。抜本的に考えていかなければ

ばと感じている。今後みなさんとも話を出来ればと思っている。11日にモルックの日本選手権北海道ブロック予選に出た。予選リーグ敗退だったが、同じ予選リーグのチームが優勝、準優勝で日本大会に出ることになった。いま勢いがある競技だと思っているので、そっちの面も勉強していきたい。

藤森：スポーツに対する敷居の高さを感じている。ガチとエンジョイの差って何か？どのくらいできれば良いのかそれが分からなくて結局参加できない人が多数。自分がスポーツ推進委員会に参加したときも、その競技でどれだけ勝つかという勝負性が強かった。今必要なのは「何をやるかよりも誰とやるかで、人が集まって、みんなが集まるから楽しい、楽しいからスポーツが習慣になる」と考えている。せっかく施設があるので、自分たちの工夫で人が外に出る誘いになる事業を作っていければと思う。

石塚：モルックをやっている。4月末にHTB杯があって、推進委員の榛さんと宮崎さん、アビーの五十嵐さんを誘ってやった。練習はほぼ出来なく、エンジョイ状態で参加。リーグ戦で強いチームがいたが1セット取れた。大会に参加して、まわりを見るとエンジョイとガチは意外と共存できると感じた。

榛：学校教育における体育は、スポーツではないと思っている。体育で取り扱うスポーツはルールや手順を重視して、指導をして、やってもらう。子どもが主体というより授業の中で教えるもの。自分が体育教師をしていたときは「この子たちは本当に楽しいのかな」と違和感を感じていた。学習指導要領がある中で出来ることは何だろうと考えることが自分の中での課題だったが、結局答えを出せずに今は特別支援を担当している。もっと「楽しい」とか「遊び」というものからスポーツの裾野が広がっていけば、それが体育で取り扱えればと思い、学校の中で遊びを重視して取り組んでいる。推進委員会の中でも、もっと多世代が交流できるような活動が出来れば、裾野が広がり、山の高さもでてくる（トッププレイヤーも自然と生まれてくる）と考えている。スポーツ人口を増やしていきたい。個人的にはモルックをやっていて、アビーの加盟団体になれるようなチームを作りたい。

伊藤：自分はミニバレーとペタンクの団体に加盟している。ペタンクは高齢者が多い。色んな進め方をすれば若い世代を取り込める競技だと思っている。一方でミニバレーは年をとると実施が難しくなる。団体の会員自体も徐々に減っている。新しい人が入ってこない。先ほどもあったようにアイスケットも大会はやっているが参加者が減っている現状。体育協会の方でも林間マラソンが無くなった。自分としては3世代交流ができたらと思っている。そこに向けて色々考えていきたい。

渡邊：部活動の地域展開について、学校教育グループから社会教育グループに今後移行されていく。移行の中でスポーツ推進委員の役割がより大きくなっていく。安平町の新しい計画（令和9年度～）の策定が今年度から始まる。スポーツを通したまちづくりに意見反映させていきたいので、皆様には色々な意見を伺う場にも出て貰いたい。また、施設の見直しも動き始めているので、その部分での協力もお願いしたい。

井内：スポーツ少年団が令和4年度は14団体だったが、令和7年度17団体に増えている。子どもの数は減っているのに団体数だけでなく、加盟人数も令和4年度に170人くらいだったのが、今年240人くらいまで増えている。マルチスポーツ（複数所属）も推進されている。安平町は、どんどん少年団が無くなっているとかスポーツをする子どもが減っているとかではない。「多世代」とか「今までのスポーツと新しいスポーツの融和」、「eスポーツはスポーツか」とか色々と話ができればと思っている。

石丸：今週12日に部活動の地域展開の関係で、中体連の会議に学校の先生ばかりがいる中でアビーの鳥實さんと一緒に出席した。今まで学校が担ってきたことを地域に展開していくことは、想像していたよりも色々な課題があると感じた。皆様の力をお借りしたい場面も出てくると思う。

#### ■ 次回の会議予定

〔日時〕 7月2日（水）18:30～

〔会場〕 追分公民館

終了 [19:20]